

第559号

## 倶楽部

Naraken  
Keizai  
Club

一般社団法人 奈良県経済倶楽部

〒630-8215 奈良市東向中町6番地 TEL0742-23-3661 FAX0742-23-6844

HP <http://narakenkc.sakura.ne.jp/> E-mail [nakeiku@energy.ocn.ne.jp](mailto:nakeiku@energy.ocn.ne.jp)

印刷所 共同精版印刷株式会社

## 5月号

「過疎地域の課題解決する「先進モデル都市」をめざして」火曜午餐会 …… ①②

「木のまち吉野 地域資源を生かした吉野町のまちづくり」火曜午餐会 …… ②③

倶楽部往来・県内経済情報 …………… ④

過疎地域の課題解決する  
「先進モデル都市」をめざして

宇陀市長 金剛一智 氏

火曜午餐会第1例会を4月2日開催。講師の宇陀市長金剛一智氏は奈良市出身。京都大学大学院工学研究科を修了後、奈良県吉野土木事務所長、まちづくり推進局長、知事特命参与を歴任され、2020年6月宇陀市長に初当選。宇陀市政への積極的な取組を語って頂いた。

## 【宇陀市について】

宇陀市は奈良県の北東部に位置し、2006年に榛原町、大宇陀町、菟田野町、室生村が合併。人口は27,340人。鉄道や高速道路で大阪、京都、名古屋等交通の便は良いのに人口の減少、少子高齢化の問題を抱えている。

宇陀市の歴史を語る時、神仙思想の影響をはずすことができない。宇陀は不老長寿の薬と言われた水銀の産地で、神武天皇の時代から大和平野を東西に繋ぐ交通路として栄えた。水銀の産地に生える植物、それを食べる鹿、これらが薬になり、宇陀を舞台に飛鳥王

権の「くすり狩」が行われた。日本書紀に記録が残っている。宇陀地域からは、ロート製薬とツムラ、アステラス製薬（旧藤沢薬品）、笹岡薬品等有名な企業の創設者がたくさん輩出された。宇陀松山地区には日本最古の「森野旧薬園」がある。また、宇陀は奈良交通のバスが初めて走った場所である。宇陀が「スタートアップの町」であることをしっかり意識したいと思っている。

## 【特色ある施策】

1. ウェルネスシティ（健幸都市）  
田舎の生活は車中心。しかし、

健康のためには歩くことが大事で、市民が健康で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいる。薬草園の見学や体験学習ができる薬草ツーリズムが人気である。

## 2. オーガニックビレッジ

全国的に農業従事者が減少している。日本の農業は肥料を海外に頼っているのが現実で戦争やコロナで輸入できなくなれば大変なことになる。農林水産省が進める「オーガニックビレッジ宣言」に宇陀市は全国に先駆けて取り組んでいる。

## 3. 公民連携まちづくりプラットフォーム

オーガニック、ウェルネスシティ、新たな学びの機会の創出、地域産業の活性化とテーマを決めて、興味を持ってくれる企業と連携を強くしている。現在61団体。

## 4. 自動運転実証運行

田舎の移動手段は車しかない。地域交通の確保が課題。県内に先駆けて自動運転バスに取り組んでいる。



## 5. 奈良サテライトオフィスうだ SOUDA

大和信用金庫旧榛原支店を活用し、地域経済の活性化の拠点とすべく令和5年にオープン。Sはサテライト、Oはオフィス。創、想、相をイメージした名前。企業と連携してスタートアップの拠点を目指している。

## 6. ICTによる地域医療・介護連携ネットワーク

市民の医療・介護情報を医療機関や事業所と共有する仕組みとして「宇陀けあネット」を構築。小さな町だからこそ顔の見える関係が強み。病院の閉院で医療の空白地解消のため移動診療車を導入。医療と福祉の連携の重要性を感じている。

## 【エストニアと宇陀市のこと】

プラットフォームの学びの場でエストニアの教育を知る企業とご縁ができた。エストニアはバルト三国では最も北に位置し、30年前ソ連から独立した小国。最先端の電子国家で、IT教育が進み学力は世界トップレベルである。「アントレプレナーシップ教育」という言葉があるが、自分で問題を見つけて自分で答えを探す、宇陀市のまちづくりは他の自治体と違うことでがんばりたい。宇陀市とエストニアは豊かな自然環境やオーガニック農業に共通点がある。こどもたちの国際的な視野を広げ、エストニアに留学生を送る。学んだ学生が宇陀で活躍できる受け皿としてITのロボット企業を誘致

するためのMOU（協定）をわずか1年で締結した。人材育成に力を入れていきたい。

## 【宇陀市の今後】

「なんで宇陀で？」と言われることが多い。うれしい評価だ。国がすべきレベルのことを小さな町がやっている。

過疎地で小さな町であっても企業と連携するといろんなことができる、何もしないのはいけない。常に危機感を持って市政にあたっている。これからも「こつこつ、とことん」をモットーに過疎地域の課題を解決する「先進モデル都市」をめざしていきたい。

# 木のまち吉野 地域資源を生かした 吉野町のまちづくり

## 吉野町長 中井章太 氏

火曜午餐会第2例会を4月16日開催。吉野町長中井章太氏を講師にお迎えし「木のまち吉野 地域資源を生かした吉野町のまちづくり」をテーマに語って頂いた。中井氏は昭和43年吉野町生まれ。関西大学社会学部卒業後、大和団地株式会社（元大和ハウス工業）勤務。のちに家業の林業（中伸木材）を継承され、吉野の7代目山守として林業の再生を目指し、吉野青年会議所理事長、吉野町議会議員を経て、令和2年から吉野町長として（現在二期目）地域を活性化させるべく「木のまち吉野」への挑戦を続けておられる。

### 【吉野町長として】

吉野は桜が有名。今年はコロナの制限無しでたくさんの人に吉野山の美しい桜を見て頂けた。吉野は日本最古の人工林500年の歴史を持つ。私自身、七代目山守として森林管理の仕事をやっている。この山守制度は300年続いており、人工林、山守、この二つをセットに吉野の林業は発展してきた。しかし、吉野の林業が今の時代で消滅してしまうことがあってはならない、まちづくりの中で生かして残していかなければという思いがあり、吉野町議員から町長を目指すことになった。吉野町は先人たちが残してくれた素晴らしい

文化遺産がある。今年は吉野山が世界遺産となって20周年。木と観光を主軸にしてこの町をどう運営していくか、私に課せられた使命であると思っている。

### 【吉野の林業と世界遺産】

2018年、吉野の山守を主人公にした河瀬直美監督の「VISION」という映画がフランスで上映された。日仏友好160年を記念しての作品で、細峠村（廃村）の古い街道で撮影され特殊な大木から物語が始まっている。吉野の名前と風景、山守の仕事が大きく世界に発信された。こうしたつながりも私の力になっている。

吉野の林業の原点は日本酒に始まる。吉野杉は年輪が細かく均等で酒との相性が非常に良い。江戸時代の輸送手段は樽廻船で、吉野の杉樽がたくさん作られた。吉野の杉樽は日本酒が漏れない、色につかない、香りを殺さない特徴があり、吉野林業は樽丸林業として栄えた。吉野杉は桶、樽に最適であることが灘に記録として残っている。

また、吉野は平成16年に紀伊山地の霊場と参詣道が世界遺産登録され、平成28年には日本遺産に認定された。吉野は縄文時代からの古い歴史を持ち、飛鳥藤原の時代は神仙境であった。日本一の桜、神々が宿る場所として崇拜される



修験道の山がある。今こそ世界平和が問われる時代だ。世界遺産20周年を通して、多くの人たちに平和について考えてもらい、次世代にメッセージを伝えられるよう取り組んでいきたい。

### 【吉野町について】

人口5979人。吉野町の課題は①人口減少・若手人材不足②企業数減少③空き家の増加・旅館の減少である。少子高齢化で子どもの数が減少。これはどの地域も抱えている問題だと思う。町の未来のためには教育しかない。令和4年4月に小中一貫教育校開校。木と共にある町なので自分たちの使う学習机を作ってもらう。地域の材を使うことで物を大切に作る気持ちが生まれる。春の桜、秋の紅葉の時期以外の閑散期の安定した雇用の確保が難しい。人口減少による人手不足で企業数も減少。人口減少は空き家の増加を生む。吉野は

良質な木材の家屋が多く、有効活用が望まれる。また観光客のニーズに応える宿泊施設の誘致が急務である。

### 【問題解決に向けて】

まちづくりは行政だけでは難しい。民間企業と連携して交流拠点をつくるのが大事。また移住者に定住してもらうために地域がサ

ポートし、人と人のつながりを大切にしたい。そのためにも多くの人に来てもらうしかけを作りたいと思う。人口を増やすことは難しいが出ていく人より来てくれる人を増やしたい。大阪万博では吉野の林業を世界に発信して未来につなげたい。「ひと」がつながり「ひと」が輝き「ひと」が潤う感動生まれる吉野町をめざしたいと思っている。



▲三菱自動車

**奈良中央三菱自販(株)**

本社 奈良市三条栄町3-6  
TEL 0742-34-7671(代)

奈良本店  
大和郡山店  
橿原店  
クリーンカー奈良中央店

お持ちのスマホからでも、  
**奈良交通 時刻・運賃検索**

バス位置情報は  
**奈良バスナビweb!!**

https://navi.narakotsu.co.jp/

奈良バスナビweb 検索

大切にしています  
技術と心

**株式会社 松田組**  
代表取締役 松田英志

〒630-8137 奈良市恋の窪一丁目十番十四号  
☎ 0742-34-4351(代表)

法律問題を適切に解決するために、お気軽にお電話下さい

奈良 川崎法律事務所 検索

**川崎法律事務所**  
TEL (0742) 22-9000  
奈良市花芝町9番地の2 川崎ビル

弁護士 川崎 祥記 弁護士 前川 典彦  
弁護士 片山 賢志 弁護士 大寺 健太

◆相続・遺言 ◆企業経営法務 ◆交通事故 ◆離婚  
◆不動産 ◆医療法務 ◆債権回収 ◆訴訟・法律相談全般

NARA TOYOTA GROUP  
**奈良トヨタ株式会社**

本社  
〒630-8141 奈良市南京終町2丁目269番地  
毎週月曜日休日(祝祭日を除く)  
☎:0742-61-3301  
お客様相談室 :0120-288-770(フリーコール)

**豊祝**  
HOSHIBUKI

〒630-8444  
奈良市今市町405

**奈良豊澤酒造株式会社**  
TEL 0742-61-7636  
FAX 0742-61-7658

**奈良中央墓園** (奈良市営 東山霊苑前)  
～奈良市内にやすらぎの公園墓地誕生～  
～ご相談・ご用命は～

**打谷石材(株)**  
ご夫婦仲良く(お墓参り)  
0120-522-749

**FUJITSU**  
電話とネットワークでお客様に安心と安全をご提案

**関西通信建設株式会社**

〒630-8451  
奈良市北之庄町66番地1  
TEL: 0742-63-7177

人と自然を、技術でむすぶ。  
**奥村組**  
OKUMURA CORPORATION

社長 奥村 太加典

本社 〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町2-2-2  
TEL 06(6621)1101  
奈良支店 〒630-8241 奈良市高天町38-3 近鉄高天ビル  
TEL 0742(22)5001

倶楽部・往・来・

4月

【火曜午餐会】

第1、第3火曜日を定例に、12時15分から火曜午餐会、12時45分から定例講演会を開催。

【定例講演会】

▽第1例会

2日、当部会議室にて開催。定例講演会は、宇陀市長 金剛一智氏をお招きし「過疎地域の課題解決する『先進モデル都市』をめざして」をテーマに開催した。

▽第2例会

16日、当部会議室にて開催。定例講演会は、吉野町長 中井章太氏をお招きし「木のまち吉野地域資源を生かした吉野町のまちづくり」をテーマに開催した。

【囲碁道場】

第2土曜日、第3土曜日・日曜日、第4土曜日の13時から17時を定例に、3階会議室で開催。当部の都合により開催日程が変更になる事があります。

【中国語会話教室】

毎月曜日の10時から12時を定例に、当部会議室で実施。

4月は、祝日を除く、8日、15日、22日に開催した。

【ハングル勉強会】

毎月曜日の13時30分から15時30分を定例に、当部会議室で実施。

4月は、祝日を除く、1日、8日、15日、22日に開催した。

【お悔やみ】

当部会員・割烹いち女将 安藤幸子氏（奈良市）におかれましては、3月28日にご逝去されました。88歳。

当部会員・奈良県護国神社宮司 宮田康弘氏（生駒郡）におかれましては、4月24日にご逝去されました。72歳。会員一同謹んでお悔やみ申し上げます。

5月

【火曜午餐会】

第1、第3火曜日を定例に、12時15分から火曜午餐会、12時45分から定例講演会を開催。

【定例講演会】

▽第1例会

5月第1例会5月7日（火）は連休明けの為休会とさせていただきます。

▽第2例会

21日、当部会議室にて開催。定例講演会は、五條メディカル株式会社 代表取締役 CEO 原田杏子氏をお招きし「女性起業家が起業した理由と起業後の家庭と仕事の葛藤」をテーマに開催する。

【正副会長会議】

8日（水）13時30分から当部会議室で開く。

【理事会】

10日（金）13時30分から当部会議室で開く。

【通常総会】

28日（火）13時30分から当部会議室で開く。

【囲碁道場】

第2土曜日、第3土曜日・日曜日、第4土曜日の13時から17時を定例に、3階会議室で開催。当部の都合により開催日程が変更になる事があります。

【中国語会話教室】

毎月曜日の10時から12時を定例に、当部会議室で実施。

5月は、祝日を除く、13日、20日、27日に開催する。

【ハングル勉強会】

毎月曜日の13時30分から15時30分を定例に、当部会議室で実施。

5月は、祝日を除く、13日、20日、27日に開催する。

【無料法律相談室＝会員限定】

ご希望の方は、顧問弁護士と日程調整をいたしますので、事務局までご連絡下さい。

※上記予定は変更になる場合があります。

県内経済情報

【概況】

2024年3月度の奈良県企業倒産件数（負債額1,000万円以上）は13件、負債総額は4億7,600万円だった。倒産件数は、2023年12月以来3カ月ぶりに2桁を数える。負債総額は小口主体の前年同月比で減少となった。

【当月の特徴】

- \*産業別…「建設業」が4件で最多。「サービス業他」が3件、「卸売業」「小売業」が2件と続く。
- \*業種別…「建設業」が4件で最多であった。
- \*原因別…「販売不振」が8件で最多。「既往のシワ寄せ」が3件、「他社倒産の余波」が2件。
- \*形態別…「破産」が11件で殆どを占める。「取引停止処分」が2件。
- \*資本金別…「個人企業他」が4件で最多。「1百万円以上」「5百万円以上」が各3件。
- \*負債別…「1千万円以上」が9件で殆どを占め小口主体となる。「5千万円以上」が3件と続く。
- \*従業員別…「5人未満」が12件で殆どを占める。
- \*その他…「新型コロナウイルス」関連倒産は2件発生した。（判明分）。

【今後の見通し】

内閣府は3月に発表した「月例経済報告」において「景気は、このところ足踏みも見られるが、緩やかに回復している」「世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている」として基調判断を据え置いた。一方、政策態度は「日本銀行は、3月19日、金融政策の枠組みの見直しを決定し、引き続き2%の物価安定目標のもとで、その持続的・安定的な実現という観点から、短期金利の操作を主たる政策手段として、経済・物価・金融情勢に応じて適切に金融政策を運営することとした」と、日銀の政策転換に言及したうえで、政府・日銀は「引き続き緊密に連携し、「デフレに後戻りしない」との認識を広く醸成し、デフレ脱却につなげるとともに、新たな成長型経済への移行に向け、あらゆる政策手段を総動員していく」とした。

日銀の政策転換により、ついに日本経済が「金利のある世界」に向けて動き出した。今春闘において大企業に続き中小企業でも高い賃上げ率となり、物価安定目標の達成に向けて見通しが立ったとの認識だ。とは

いえインフレと人手不足に背中を押されるかたちで賃上げをせざるを得ない中小企業に余裕はうかがえない。東京商工リサーチが実施したアンケート調査では中小企業の賃上げは賞与対応が多く、新卒初任給の賃上げも大企業に見劣りする。背景には新たな人材を獲得して成長するというよりも、今いる人材の流出を防ぎたいという防衛的な思いがある。賃上げ原資となる価格転嫁についても、政府は積極的に支援の動きを見せているものの、別のアンケートでは過半数が人件費分の転嫁ができていないと回答するなど、目下の賃上げが持続するかは不透明な情勢だ。すでに政府の委員からは「十分な人財を確保できないことによる倒産は構造的な人手不足の下ではやむを得ない」「人手不足退出、人件費倒産はますます増え続け、大中小すべての経営者は生き残りをかけた労働生産性の向上に迫られる」との声も上がっている。今後、人手不足による売上縮小と価格転嫁不足による収益圧迫に加え、日銀の政策転換により資金調達コストも上昇が見込まれるなか中小企業の淘汰はさらに進むと見てよい。

（株）東京商工リサーチ奈良支店調べ